

2023年5月28日（日）メッセージアウトライン 「五旬節に起こったこと」

聖句：使徒の働き 2：1～4、36～42

タイトル：「五旬節（ペンテコステ）に起こったこと」

テーマ：今日の聖書箇所から五旬節（ペンテコステ）とは本来、どういう意味を持つ日なのかをまず考えてみる。

イエス様が来られた新約時代に、イエス様が約束された聖霊が弟子たちの上に降ったのが、この五旬節の祭りの日。イエス様を信じる者にはこの日は「聖霊降臨日」、同時にイエス様を信じて聖霊を受けた人々の群れが洗礼（バプテスマ）を受けて、聖霊共同体とも呼ばれる教会に加えられた「キリストの教会の誕生日」でもある。聖霊がイエス様を信じるすべての者に与えられるという事実は、人類に何をもたらしたのか。次の三点に分けて五旬節とは何だったのかを考えてみよう。

1. 五旬節の前に何が起こったのか？
2. 五旬節に何が起こったのか？
3. 五旬節の後、何が起こり続けているのか？

初めに：

旧約聖書の出エジプト記 34章、レビ記 23章、申命記 16章などに繰り返し主の例祭の教えが記されている。

春の祭りとして、◎過ぎ越しの祭り ◎種なしパンの祭り ◎初穂の祭り ◎五旬節の祭りの4つ、秋の祭りとして、◎ラッパの祭り ◎贖罪の日 ◎仮庵の祭りの3つ。そのうちの、過ぎ越しの祭り、五旬節の祭り、仮庵の祭りは巡礼祭と呼ばれ、イスラエルの男子は主が選ばれる場所に上るよう命じられていた。

五旬節の日に各地に離散しているユダヤ人やユダヤ教への改宗者たちが大勢集まっていたのはこのためである。

過ぎ越しの祭りはイエスキリストの十字架の死を、種なしパンの祭りはキリストの血による贖いを、初穂の祭りはキリストの復活を予表するものであり、五旬節には聖霊が降られたのである。

秋の祭りは将来起こる出来事の予表だと考えられている。

1) 五旬節の前に何が起こったのか？

- ①旧約聖書が指し示す救い主、神の子イエス・キリストの誕生。
- ②イエス様は弟子をつくられた。
- ③イエス様は、ご自分に起こること（十字架の死、埋葬、復活）を予め語られた。
- ④イエス様は、聖霊を与えると約束された。
- ⑤聖霊についてイエス様が教えてくださったこと（ヨハネ 16：7～16）

* 聖霊は助け主

* 聖霊は世の誤りを明らかにされる

・ 罪について ・ 義について ・ さばきについて

* 聖霊は信者に対して

・ その心の内に内住され、すべての真理に導いてくださる。

・ 信者をつくり変えて、キリストの栄光を現わす者としてくださる。

・ キリストを証しする者としてくださる。

⑥キリストの十字架の死、埋葬、復活のあと、キリストは、

* ご自分が生きておられることを弟子たちに示され、神の国について教えられた。

* 聖霊が弟子たちに臨むと、彼らは全世界に及ぶキリストの証人になると約束。

* 40日間、弟子たちに現れて、天に昇られ、父なる神の右の座に着かれた。

以上によって、キリストの贖いのわざは完成した。

2) 五旬節に何が起こったか? (使徒2:1~4)

①神殿の同じ所に集まっていたイエス様の弟子たちの上に、聖霊が臨み、彼らは自分の知らない他国のことばで神の大いなる御業について語った。

②ペテロはあつけにとられているユダヤ人とユダヤ教に改宗した人々に大胆に、イエス・キリストの十字架の死と埋葬、死者の中からの復活を告げ、イスラエルの全家が主であり、キリストであるイエス様を十字架につけた罪を宣言した。(使徒2:14~36)

③人々は心刺され、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けた。
(使徒2:37~41)

3) 五旬節の後に起こり続けていることは? (使徒2:42)

①イエス・キリストを信じて聖霊を受けた人々は;

* 使徒たちの教えを守り * 交わりを持ち * パンを裂き * 祈った

4) 結論

①キリストを信じるすべての者に聖霊が与えられ、イエス・キリストを「かしら」とする教会の交わり(聖霊の共同体)の一員とされ、聖霊の豊かな力を与えられ、教会に委ねられた使命を果たすべく前進するのである。

②イエス様が教会に求めておられるのは、弟子づくり

* あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」(マタイ28:19、20)

* 聖霊を受けたすべての者が、キリストの弟子として生きること、教会が主の身丈にまで成長すること。キリストに似た者に造り変えられていく人生を喜び楽しもう。